

1 学校教育目標						
1. 工業高校としての期待に応えるため、一人ひとりが進路を実現できる知識や技術・技能とともに、社会人として求められる基礎的な力を学校教育活動の全体を通して育成する。 2. 特別活動の充実・強化と健康安全教育を推進する。 3. 地域に開かれ、信頼される学校づくりを推進する。 4. ものづくりへの積極的・主体的取組と資格取得を推進する。 5. 基礎学力向上にむけた学習習慣の定着と学習指導体制を整備する。						
2 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)						
【教務】学力の向上を目指さなければならない。また、多面的・多角的に考察する力、協力的に追及解決する力を養う。 【生徒】教職員全体が、生徒とのコミュニケーションを通じて社会性を身につけさせるために、声掛けなどを積極的に行う。 【保健体育】「体力の向上」では昨年度はどの学年も目標に達することができなかった。受診率については、目標にはまだまだではあるが、新たな取り組みにより徐々に向上してきているようである。 【進路指導】多くの生徒が、将来に対する希望や不安を漠然と抱いてはいるが、自ら進路先の情報収集をするなどの具体的な行動には踏み出せていない。 【特別活動】教育相談やSCについて機会を捉えて紹介することにより、生徒や保護者の相談件数が増加した。今後は早期にストレスサインを発見し、重症化を防ぐよう努める。 【工業】資格取得者数は減少しており、目標を持たせた取り組みが必要である。ものづくりについても推進しなければならない。						
3 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題						
【教務】授業・実習の改善と指導力の向上を目指すとともに、基礎学力の確実な定着とより高い進路実現に向けた学力の養成に取り組む。 【生徒】1年生と2、3年生との連携に重点を置く。被害ゼロを実現させるための環境整備と自己防衛意識高揚のための指導、登下校中の交通事故防止と事故後の対応を徹底する指導などを中心とする。 【保健体育】「体力の向上の評価基準が高いのでは」とのご指摘もあったが、本校の目指す生徒像「関工生・工科高校生」として、体力はもとより精神的にももっとたくましくなって欲しいとの期待を込め、今までどおりの目標値を目指したい。そのためには体育の授業はもとより、他の先生方にもこの現状を知っていただき、色々な側面から「たくましい生徒」を育てていけるよう理解と協力を仰ぎたい。 【進路指導】キャリア教育の充実による、生徒の多様な進路実現に取り組む。 【特別活動】部活動の増加に伴い選択肢が広がった。部活動を通して目標を持ち、多くの友人と関わり、コミュニケーション能力や問題を解決する力を身につける 【工業】資格・検定取得指導の充実と専門教科の特色づくりの推進を図る。 【チャレンジ目標】「資格取得」と「ものづくり」への積極的な挑戦						
4 自己評価						5 学校関係者評価
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	実践目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等
教務	授業・実習の改善と指導力の向上	・各教科の組織的な取り組みや授業研究を通じて、授業の改善工夫を図り教科指導力の向上を目指す。	4 授業の改善工夫を図り教科指導力が向上した 3 各教科の組織的な取り組みができた 2 各教科の組織的な取り組みができつつある 1 研究授業、公開授業を実施した。			
	基礎学力の確実な定着とより高い進路実現に向けた学力の養成	・習熟度別指導、少人数指導の効果的な実践	4 授業アンケートの「わかる」以上の回答が80%以上 3 授業アンケートの「わかる」以上の回答が60%以上 2 授業アンケートの「わかる」以上の回答が40%以上 1 授業アンケートの「わかる」以上の回答が40%未満			
生徒	保護者や関係機関との連携、毅然とした生徒指導の推進	・キャリア教育の一環として、頭髪・服装検査を実施し、あらゆる場面において服装の乱れ等の注意、あいさつの徹底を行う。また、全教員による指導の徹底を図る。	4 生徒は規則や道徳を守る意識が高く、生徒指導が全教員一枚岩で行われている 3 生徒は規則や道徳を守る意識を持ち、ほぼ効果のある指導が行われた 2 規則や道徳を守る意識の低い生徒がわずかにいるが、ほぼ効果のある指導が行われた 1 規則や道徳を守る意識の低い生徒がおり、指導体制にばらつきがある			
	学校内外における安全教育の徹底	・登下校時の安全確保を中心に、非常時の対処法を実践レベルまで指導する。なお、交通安全の指導は重点努力事項である。	4 交通事故もなく、安全な生活を送ることができる 3 交通事故件数が少なく、登下校の状況も良好で生徒被害件数も少ない 2 交通事故件数は少ないが、登下校の状況について苦情が絶えない。生徒被害件数は少ない 1 交通事故件数が多く、登下校の状況について苦情が絶えない。生徒被害件数も多い			
	情報モラル教育のペアレンタルコントロール(保護者監視)の実現	・携帯電話について、仮入学やPTA総会等の機会をとらえて、保護者責任の意識を啓発する。そのうえで、保護者の学校への協力体制を強化する。	4 保護者の協力が得られ、生徒全員の指導ができるようになる 3 保護者の協力が得られ、全生徒のうち8割程度の指導ができるようになる 2 保護者の協力が得られ、全生徒のうち5割程度の指導ができるようになる 1 保護者の協力が得られているものの、生徒の指導に結びつかない			
	集団行動の確立	・全校集会等での集合・整列を徹底する。	4 全校集会等での集合・整列が集合時間までに徹底された。 3 全校集会等での集合・整列が集合時間より3分程度遅れたことが数回あった。 2 全校集会等での集合・整列が集合時間より3分程度遅れたことが半数ぐらいあった。 1 全校集会等での集合・整列が集合時間よりほぼ毎回3分以上遅れた。			
保健体育	体力の向上	・スポーツテスト総合判定において、A判定が、1年15%以上、2年30%以上、3年40%以上にする。	4 スポーツテスト総合A判定が1年、2年、3年とも目標以上 3 スポーツテスト総合A判定が2学年において目標以上 2 スポーツテスト総合A判定が1学年のみ目標以上 1 スポーツテスト総合A判定が全学年とも目標に達していない			
	健康の保持・増進	・健康診断結果において疾病・異常者の受診率を向上させる。	4 健康診断の結果を受け、疾病・異常者の80%以上の者が受診をした 3 健康診断の結果を受け、疾病・異常者の60%以上の者が受診をした 2 健康診断の結果を受け、疾病・異常者の40%以上の者が受診をした 1 健康診断の結果を受け、疾病・異常者の40%未満の者しか受診をしていない			

進 路	教育活動全体を通して、キャリア教育の充実を図り、一人ひとりの希望に対応した進路実現を目指す。	・生徒の進路希望について、各係の連携のもと面談・相談を行い安易な妥協によるミスマッチを防ぐ。一次応募内定率85%以上を目指す。	4	1次合格率85%以上で、12月末までに就職希望者全員の内定を得られた		
			3	12月末までに就職希望者全員の内定を得られた		
			2	卒業までに就職希望者全員の内定を得られた		
			1	卒業までに就職内定を得られない生徒が出た		
	・進学希望の生徒の、小論文等の受験対策指導をより充実させることで、卒業式までに進学希望者全員の合格を得る。	4	卒業までに進学希望者全員の合格を得られ、9割以上の生徒が第一希望の進学先であった			
		3	卒業までに進学希望者全員の合格を得られ、7割以上の生徒が第一希望の進学先であった			
		2	卒業までに進学希望者全員の合格を得られた			
		1	卒業後の進路先が見出せない生徒が出た			
生徒自らが、自主的・主体的に進路選択の能力を身につける。	進路資料室の利用促進、「総合的な学習の時間」の指導内容の充実、1・2年生の段階から生徒が具体的な進路研究に取り組む気運を高める。	4	進路資料室を利用した生徒が80%以上になった。			
		3	進路資料室を利用した生徒が50%以上になった。			
		2	現状維持			
		1	昨年度より後退した			
特	教育相談活動の充実	・環境の変化や人間関係等によるストレスにより、教育相談の件数が増加している。係、正副担任、保護者、SCとの連携を図り、多くの事案に対応する。	4	ほぼ100%の事案に対し対応できた。		
			3	80%以上の事案に対し対応できた。		
			2	50%以上の事案に対し対応できた。		
			1	50%未満の事案に対し対応できた。		
活	部活動参加の推進	・部活動への参加を促し、部活動の活性化を図り、健康な体づくりを目指す。また、その活動を通して、心身共に調和のとれた人間形成を目指す。	4	部活動にほぼ100%の生徒が入部している。		
			3	部活動に90%以上の生徒が入部している。		
			2	部活動に80%以上の生徒が入部している。		
			1	部活動に80%未満の生徒が入部している。		
工	資格・検定取得指導の充実	・生徒の資格や検定取得の指導体制を整え、取得率の向上を図る。	4	資格取得目標3000ポイントを取得できた。		
			3	資格取得目標2700ポイントを取得できた。		
			2	資格取得目標2500ポイントを取得できた。		
			1	資格取得目標2300ポイントを取得できた。		
業	各専門教科の特色づくりの推進	・ものづくりの意識を高め、コンテスト等に積極的に参加する。 ・地域と連携してものづくりや知的財産の教育推進を図る。	4	全国大会に出場でき入賞した。		
			3	中国大会に出場できた。		
			2	県大会で入賞できた。		
			1	県大会で入賞できなかった。		

6 学校評価総括(取組の成果と課題)

【教務】
【生徒】
【保健体育】
【進路指導】
【特別活動】
【工業】

7 次年度への改善策

【教務】
【生徒】
【保健体育】
【進路指導】
【特別活動】
【工業】